



エスディー・ジーズ トップランナーがSDGsを語る! 持続可能なまちづくりへ 最終回

東松島市議会 **あべかつのり**
阿部勝徳 議長



国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取り組みを推進していくために、政府は優れた取組を提案した全国29自治体を「SDGs未来都市」に選定。宮城県からは唯一、東松島市が選ばれました。

東松島市では、今後、各省庁の支援施策などを活用し、教育、エネルギー、生涯現役、経済循環、市民協働を中心に「持続可能なまちづくり」を目指し、本市の知名度アップにもつなげていく考えです。

市の行財政会を牽引するトップランナーの方々に、「SDGs」に対しての期待感や、持続可能なまちづくりへの思いを語っていただくインタビューコーナー。最終回となる今回は、東松島市議会の阿部勝徳議長に「SDGs」を語っていただきました。

■ 問 SDGs未来都市推進室
☎内線1249

インタビューの全文は、

東松島市 SDGs

検索

インタビュー

◎「SDGs」は持続可能な社会づくりが求められるものですが、持続可能な社会・まちとはどのようなものでしょうか?また実施していくために必要なことはなんでしょうか?

▲ 市民一人一人の生活の質を向上していくことが持続可能な社会につながると考えます。全世代の市民にとって住みよいまちにすることが大切であり、子育てしやすい環境づくりや若者の働く場の創出など各課題を解決していくことが求められます。

◎東松島市がSDGs未来都市に選定された意義や可能性、また今後市はどのような取り組みをしていくべきでしょうか?

▲ 今回の選定で一番うれしかったのは、「被災地で唯一、東松島市が選ばれたこと」でしょう。創造的復興が政府から評価されたのかなと思っています。SDGsを活用し、創意工夫すれば、住みよいまちを目指していけるのではないかと可能性を感じています。

◎SDGsには「誰一人取り残さない」というキャッチフレーズがあります。これにどのようなイメージを持たれ、この課題に対しどのようなアプローチをしていくべきでしょうか?

▲ 「誰一人取り残さない」という言葉からは、東松島市と友好関係を結んでいるデンマーク王国のことが浮かびます。20数年前に同国を視察した際に、子どもも若者も高齢者も障害を持った方も、皆さん生き活きとしていて、民主主義のもと、平等に暮らしていける国だと感じました。また、宿泊先の民家では、とてもあたたかく迎え入れてくれ、大変な「おもてなし」を感じました。デンマーク王国の姿に近付けるよう、市民協働のまちづくりの理念を基本に、より地域で支え合う体制づくりをしていかなければいけないと思います。

◎SDGsでは、子ども、若者、高齢者の人材育成をテーマにしています。各世代に対するメッセージをお願いします。

▲ 全世代に共通して言えることは「夢を持ってほしい」ということです。子どもはもちろん、若い世代の皆さんには、何事にもチャレンジする姿勢を大切にしてほしいです。高齢者の皆さんも、健康・長寿を目指して、軽運動に励むなど、快活な生活を送ってほしいです。